

江東区長期計画 10年間の集大成 そして新たな時代へ

平成31年第一回区議会定例会が、2月19日から開会されています。会期日程は3月19日(火)までの29日間で、「平成31年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

山崎区長が所信を表明



区長所信表明(要旨)

平成31年度 予算編成の大綱

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されていますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きを楽観視する状況にはありません。

こうした経済情勢を踏まえ、国の平成31年度予算は、「新経済・財政再生計画」の下、歳出改革の取り組みを継続するとともに、全世代型の社会保障制度への転換や、消費税増税の経済への影響の平準化および「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の3点をポイントに編成され、一般会計総額は、前年度比3.8%増の、101兆4,571億円で、過去最大の予算規模となっています。

また、都の平成31年度予算は、「東京2020大会を推進力とし、東京が成熟都市として新たな進化を遂げ、成長を生み続けられるよう、未来に向けた道筋をつける予算」として編成され、一般会計総額は、前年度比5.9%増の7兆4,610億円で、過去最大の規模となっています。

みんなでつくる江東区 未来への創造予算

本区を取り巻く財政環境ですが、特別区税は、納税義務者数の増加や所得環境の改善により、527億2,100万円、前年度比4.3%の増、特別区交付金は、投資的経費の臨時的算定により、交付金総額で前年度比12.2%増の612億7,000万円

としております。

しかしながら、ふるさと納税による減収や、地方法人課税の見直しの影響など、中・長期的には先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした中、平成31年度予算は、長期計画をはじめとする各種計画の策定のほか、東京2020大会の確実な成功に向けた施策を打ち出し、区民と共に未来を創り上げるため、「みんなでつくる江東区 未来への創造予算」として編成いたしました。

一般会計は、東京2020大会の気運醸成を加速する取り組みや待機児童対策、防災対策などにより、2,054億700万円、前年度比6.5%の増となっています。

予算の特徴としては、東京2020大会に向けた気運醸成の取り組みとして、「KOTOスポーツキャラバンto東京2020」の拡充や区独自ボランティアの活動開始、障害者のパラリンピックに関するアート作品の巡回展示などを実施します。

また、今後の江東区政の道筋を描く「新長期計画」を策定するほか、都市計画マスタープランの改定にも着手します。

ハード事業では、有明地区と亀戸地区において地域の子育て拠点である子ども家庭支援センターの整備を新たに計画するとともに、認可保育所の整備を積極的に進め、約1,300人の定員増を図ってまいります。

ソフト事業では、「えこっくる江東」常設展示室のごみ戦争に関する展示を拡充します。

平成31年度は、江東区長期計画

の最終年度であり、10年間の集大成を図るべく、主要事業の予算を確実に計上しています。

その他の予算についても、教育施策では、区立小・中学校等の体育館に空調設備を設置して児童・生徒が安全に活動できる環境を確保します。

防災対策では、防災基金へ20億円を積み立てるほか、「洪水ハザードマップ」の改定や「高潮ハザードマップ」を新たに作成し、更なる防災対策の充実を図ります。

また、産業施策では、個店の集

客力向上に向けた支援や区内商店や飲食店の多言語化の支援など、魅力ある商店街を創出します。

予算編成にあたっては、持続可能で強固な財政基盤を構築するため、現行事業の必要性とその効果、コストの妥当性と後年度負担について、行政評価結果を踏まえた事業の総点検等を実施しました。

また、区民税等の収納対策、民間委託の拡大など、行財政改革にも積極的かつ着実に取り組み、予算に反映しています。

本区の重要課題とその取り組み

築地市場の豊洲移転整備

豊洲市場は、昨年10月11日に開場しました。築地で培った伝統を豊洲市場でも継承し、本区の発展に繋がるよう、本区としても取り組んでいきます。

一方、地下鉄8号線の延伸や千

客万来施設の整備等、未だ本質的な解決には至っていません。これらの課題は市場受け入れの前提条件であり、豊洲市場はもとより、本区の発展においても、不可欠な事項です。今後も、課題の早期実現に向け、取り組んでいきます。

3面へつづく